

岩手転倒予防研究会 世話人代表 菅 栄一

2020年1月29日(水)18:30より、第3回 岩手転倒予防 Web 研修交流会を開催した。岩手転倒予防研究会と中外製薬の共催、日本転倒予防学会の協力事業として、岩手県内4会場(二戸市、盛岡市、北上市、一関市)と長野東御市をWebで結んで行った。

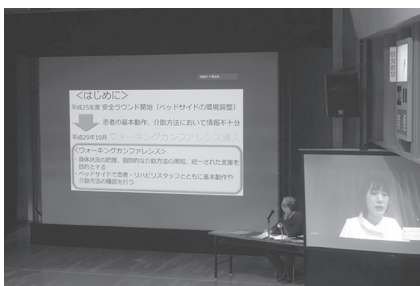
この研修会は、今年で3回目となる。日本転倒予防学会の認定転倒予防指導士と岩手県内で転倒予防活動に関わる方達に呼びかけた。岩手県が多職種で転倒予防に関わる情報のアップデートを共有し、「骨も心も折れない転倒予防活動」という共通した認識を持って取り組みたいとの思いで2018年より開催してきた。転倒予防指導士の資格継続の研修1単位に認定されている。

今回は、新潟の第6回学会学術集会で、岩手県から発表された実践と調査の発表を、そして、今年度東京で開催される第7回学術集会会長に特別講演をお願いした。

講演1では、県立千厩病院での「転倒転落予防におけるウォーキングカンファランスの効果」と題して、看護部の八幡領多美衣氏に、千厩会場から発表していただいた。

公演2では、「転倒予防におけるポリファーマシーの問題ー岩手県薬剤師会の取り組みー」と題して、岩手県薬剤師会の金澤悟氏に、二戸会場から発表していただいた。

特別講演では、日本転倒予防学会理事で第7回学術集会会長のお一人である奥泉宏康氏に「日常生活と入院患者の転倒の実態」と題して、東御市会場から講演をいただいた。



八幡領多美衣氏によるウェブ発表の様子



金澤悟氏による発表の様子(二戸会場)



奥泉宏康氏によるウェブ発表の様子

各会場から多くの質問がなされたことに加え、受信状況が一部乱れたこともあり、終了予定時間を30分ほどオーバーとなった。

参加者は、以下の通り。

二戸会場：転倒予防指導士 10名 一般 33名
 盛岡会場：転倒予防指導士 7名 一般 16名
 北上市会場：転倒予防指導士 10名 一般 33名
 千厩会場：転倒予防指導士 1名 一般 7名
 長野会場：1名
 スタッフ：18名

合計130名、そのうち転倒予防指導士の参加は28人。他県からの参加は1名であった。

<盛岡会場報告>

盛岡会場は看護師、PT、OTの参加が多く、中には初期臨床研修医、大学病院の医療安全の責任者も参加され、最近の転倒予防・予防医学への関心がみられた。